

平成20年3月6日  
 独立行政法人森林総合研究所  
 林木育種センター東北育種場

## スギ花粉症対策品種を県と連携して新たに開発

森林総合研究所林木育種センター東北育種場では、花粉症が国民的疾患となる中で、東北育種基本区各県と連携して、花粉症対策品種の開発を進めております。

平成19年度は、新たに少花粉スギ10品種を開発しました。

### 少花粉スギ品種

成長や幹の通直性等に優れたスギ精英樹を対象に、雄花の着生量の調査を行い、雄花が全く認められないか、極めて僅かであり、花粉飛散量の多い年でもほとんど花粉を生産しないスギ(少花粉スギ)品種の開発を進めてきましたが、今回、東北地方の各県と協力し、新たに10品種(下表)を開発しました。

#### 少花粉スギ品種(精英樹)一覧表

選抜地県名	品種(精英樹)名
青森県	増川6号、黒石6号
岩手県	水沢6号
宮城県	玉造8号、宮城3号
秋田県	上小阿仁107号、仙北1号、雄勝3号、雄勝13号
新潟県	高田1号

### 今後の取組

新たに開発した品種については、県の管理する採種園や採穂園の造成・改良用等の原種として配布するとともに、引き続き花粉症対策品種の開発に取り組むこととしています。

注) 原種：開発した品種そのものの特性を維持しつつ増殖したもの。

採種園：苗木の生産に必要な種子を採取するために設けられた樹木園。

採穂園：さし木による苗木生産に必要な穂木を採取するために設けられた樹木園。

連絡先：独立行政法人森林総合研究所  
 林木育種センター東北育種場  
 岩手県岩手郡滝沢村字大崎95  
 電話：019-688-4518  
 担当：連絡調整課 今野、増山

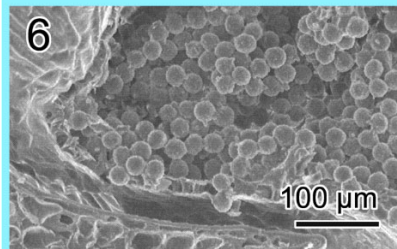
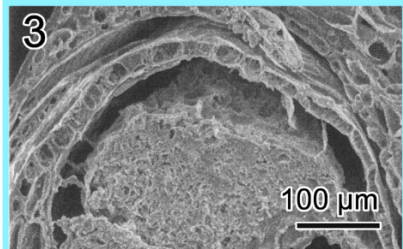
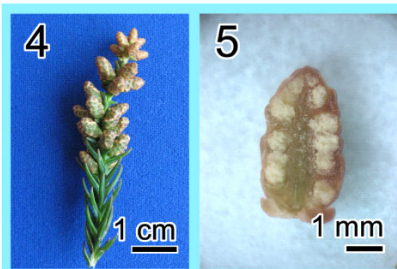
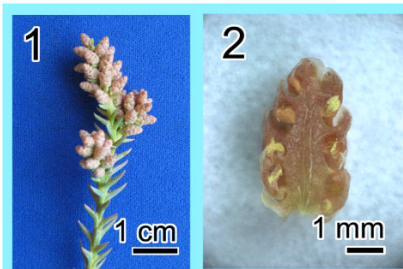
## 少花粉スギと無花粉スギの違い

### 少花粉スギ品種



少花粉スギ品種(左)と一般のスギ(右)との雄花着生量の違い

### 無花粉(雄性不稔)スギ品種



スギ三重不稔(関西)1号

一般のスギ

#### 雄花の接写写真(1, 4)

無花粉スギの雄花の外見は、一般のスギと同様です。

#### 雄花断面の実体顕微鏡写真(2, 5)

一般のスギでは、丸く見える葯の中に花粉が詰まっています。

#### 雄花断面の電子顕微鏡写真(3, 6)

一般のスギには、丸い粒状の花粉がたくさん見えますが、無花粉スギには花粉が全くありません。